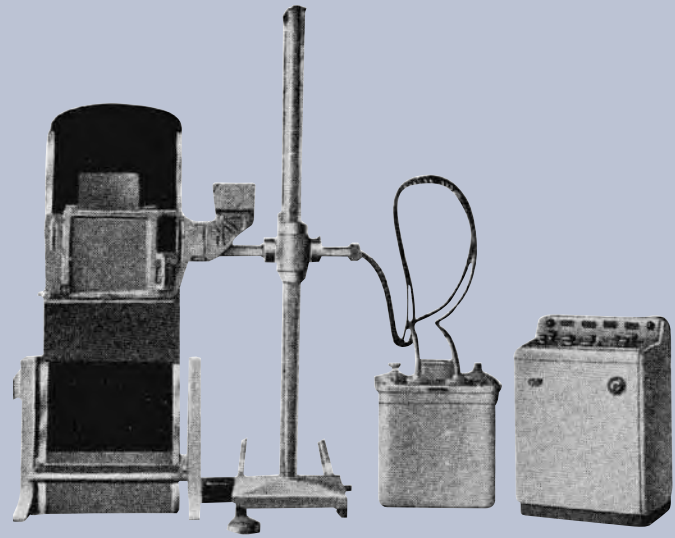


X線診断装置



二重点X線装置DR-10/2S

1952

2007

オフセットオープン式多目的イメージングシステム CUREVISTA

日立は1951(昭和26)年、X線撮影装置の老舗・渋谷レントゲン製作所(1928年創業)の吸収合併とともに、診療用X線装置の研究・試作に着手。翌'52年には「DR-10 / 2S」を発表、医療機器には従来なかったライトブルーの塗装と丸みを帯びたデザインが注目を浴びた。世界に先駆け、間接制御方式の速写装置なども備えた。

現代のX線装置は1台の装置で治療を含めたさまざまな検査に対応できる。ユーザーの声を取り入れ、デザイン主導型で開発を展開した「CUREVISTA」(株式会社日立メディコ)は独自のオフセットオープンデザインと2ウェイアーム機構により、高い操作性と安全性を実現した(第38回機械工業デザイン賞・経済産業大臣賞)。



編集後記

日立グループは、事業活動による環境負荷を低減する取り組みや、環境配慮型の製品・関連技術の開発などに取り組んでいます。今号では、データセンタの省電力化プロジェクトや、グリーンエネルギーとして注目されている原子力発電の話題などを取り上げました。また、家庭のエコにつながる製品もご紹介しています。

本誌では、環境負荷低減に貢献する技術・製品などを、これからもご紹介していきます。

(伴野)

『永瀬唯のサイエンス・パースペクティブ』では、パソコンやビデオカメラ、オーディオ機器など、身近なデジタル機器の記録媒体としても欠かせなくなったHDDを取材しました。インタビュは、磁気テープの話題から、「原子の粒」にも迫るナノレベルのテクノロジーへと展開。HDDの大容量化・小型化を可能にした技術の変遷を、一読ください。

(若井)

ひたち 2008 Vol.70 No.4 Autumn

発行人 荻原 淳

編集人 伴野 明

発行所 日立評論社

〒101-8608 東京都千代田区外神田 1-18-13

企画・編集 ◎株式会社 日立製作所

コーポレート・コミュニケーション本部 宣伝部

tel.03-3258-1111 (大代表)

制作 株式会社アルシーヴ社

デザイン 河合千明デザイン室

印刷 ◎日立インターメディックス株式会社

取次店 株式会社オーム社

〒101-8460

東京都千代田区神田錦町 3-1

tel.03-3233-0641 (代表)

◎本誌ホームページ◎ www.hitachi.co.jp/Sp/hitachi/